



写真提供：国土交通省 中国地方整備局

みなさんは、地震や豪雨によって災害が起こると学校が避難所になることは知っていますね。でも、「もし、自分の通っている学校が避難所になったら…」と想像したことはありますか？学校が避難所になり、運営していくことがどんなに大変か、話を聞いてみませんか？岡山県倉敷市真備町にある菌小学校は平成30年の豪雨災害時に避難所になりました。この度、当時の校長先生だった高津先生にその時の話をさせていただくことになりました。高津先生のお話の後に、ワークショップも行います。保護者の方も、ぜひご参加ください。みんなで考えてみましょう。

## 内容

講師：岡山県教育庁 教育政策課 教育企画班 高津 智子氏

## 講演会

平成30年7月豪雨災害 ～そのときの学校～

## ワークショップ

避難所開設 ～どうする！ レイアウトとルール～



## 日時

令和 5 年 8 月 18 日 [金] 13:30-16:00

## 定員

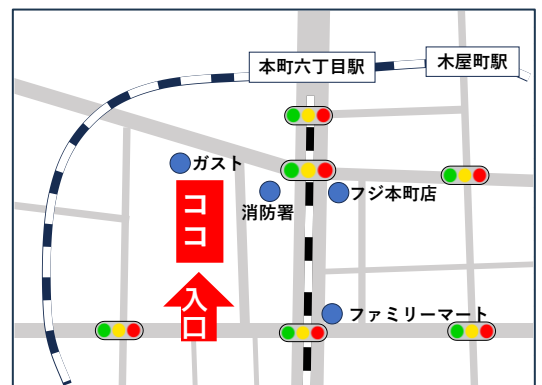
40名 + 保護者

## 応募

令和 5 年 8 月 9 日 [水]

## 場所

松山市保健所 6階 大会議室  
(松山市萱町6丁目30-5)



※松山市保健所の駐車場を利用できますが、数に限りがございます。  
できる限り公共交通機関をご利用ください。